

## プーチンのベストQ&Aより

——「米におもねるアンカラ」「トランプが絶対にトップ・ランナー」

RT

December 17, 2015



2015/12/17 ロシア大統領ウラジミール・プーチン、11回目、恒例のメディアとのQ&A、クラスナヤ・プレスニア、「ワールド・トレード・センター」にて

言葉に全くよどみなく、プーチンは、年次Q&Aセッションで、例の通り真っ正直に語った。ロシアのトルコとの関係、シリアおよびウクライナの危機、それにアメリカの大統領選が、1400人のジャーナリストの参加した、3時間のマラソン記者会見のハイライトだった。

関連記事：「プーチンの2015メディアQ&Aライブ、アップデート」

<https://www.rt.com/news/326198-putin-2015-media-marathon/>

ロシア - トルコ関係の悪化に、第三者が関与しているのかについて尋ねられると、プーチンは、ワシントンがそれに何らかの関係をもっているかもしれない、と言った。



「我々に確かなことはわからない。しかしトルコの指導者の誰かが、アメリカにおもねようとしたのなら、それが正しかったかどうか、私には何とも言えない」と彼は言った。

「第一に、アメリカにそれが必要なかどうか、私にはわからない。あるレベルにおいて何らかの合意があった可能性はある——我々はロシア機を撃墜する、あなたたちは見ぬふりをしてくれ——我々はイラクに軍隊を派遣し、イラクの一部を占領する、よろしく——」



ロシアは、SU24の撃墜があった以上、シリアにおける軍事行動をやめるつもりはない、アンカラはそれを期待していたのかもしれないが、それは違う、とプーチンが言った。

「彼らは我々が[シリアから]逃げると思ったのだろうが、ロシアはそんなことをする国ではない。我々はシリアにおけるプレゼンスを増加した。我々は軍事力を強化した。前にはそこに対空兵器はなかったが、今はS-400を置いている」と彼は言った。

「トルコは、これまで常習的にシリアの領空を犯していた。今度、そこを飛んだらどうなるか見ていよう。」



完備された基地をシリアに置くことは、ロシアのアジェンダにはない、とプーチンは言った。

「なぜ我々があそこに基地を置く必要がありますか？ [必要なら]そうすることもできるが」とプーチンは、シリアで活動している一時的なロシア軍の仕事は、2日以内に撤退することもありうることを強調した。



プーチンは、絶えず非難されていることだが、いかなるロシアの正規軍もウクライナには駐屯していない、と繰り返した。

「我々はそこで（ウクライナ、ドンバス地区で）、軍事関係を含めて、ある種の役目を果たしている人たちがいない、と言ったことはない。しかしそれは、正規のロシア軍がいるという意味ではない。その違いがわかりますか？」とプーチンは言った。

関連記事：「ウクライナについてのプーチンの説明は“西側メディアに曲解されている”」

<https://www.rt.com/op-edge/326334-putin-media-troops-ukraine/>



主要な質疑応答のセッションが終わった後、プーチンは、ドナルド・トランプについての彼の態度を訊ねられた。

「彼の仕事を評価するのは我々の仕事ではない」とプーチンは言った。「しかし彼は[アメリカ]大統領選の絶対的なリーダーだ。」

「彼は聡明な、才能ある人物だ、それは間違いない」とプーチンは付け加えた。トランプは最近、アメリカはロシアとの絆を強めるべきだと発言した。「我々はもちろんそれを歓迎する」とプーチンは言った。

Q&Aセッションの初めの方で、プーチンは、誰であれ、2016年の米大統領選で勝った人と、我々は協力する用意がある、と発言していた。